

東北品確安全協が発足

初代会長に奥田氏就任

東北地方の地元建設企業でつくる東北公共工事品質確保・安全施工協議会（東北品確安全協）の設立総会が1日、仙台市青葉区の江陽グランドホテルで開かれた。初代会長には、奥田和男氏が就任。公共工事品質確保に関する議員連盟（品確議員連）との意見交換会の開催などを盛り込んだ2008年度事業計画を決めた。4月1日から正式に事業をスタートさせる。



奥田会長

同協議会は、東北建設（奥田氏）を発展的に解消し、公共工事の品質確保と安全な工事の進捗を図ることを目的に設立した。これにより地域住民の安全・安心の確保、技術と経営に優れた建設企業の持続的発展を目指す。

具体的には、▽技術と経営に優れた会員企業への受注機会確保▽公共工事施工の平準化の推進▽公共工事の適正積算および適正工期の確保▽労働災害防止対策の推進と災害時における災害緊急対応▽発注官庁との意見交換が、皆さんの協力のもと

いきなり。東北地方のインフラ整備に対する国民の理解を深め、明日の建設産業に明るい見通しがつけられるような活動を展開していきたい」と抱負を語った。

と、これまでの施策を継承するとともに、私のこれまでの経験も發揮しては、低価格入札による工

奥田会長を除く役員は、三朗（秋田）柴谷忠昌（山形）▽小野憲一（福島）▽幹事 佐藤博俊（宮城）▽副会長 安川勉（青森）▽宮城政章（岩手）▽宮原

事品質の低下が懸念され、工事事故が多発している中で、当協議会が設立されたことは、大きな役割がある。公共事業予きたい」と祝辞を寄せた。